

令和7年度 第6回臨床腫瘍セミナー

子どもが子どもでいられるように ～回復・成長に必要なS・C・Hのかかわり～

入院加療中の子どもたち、病気のある子どもたちは、1日も早く治るため、退院をするために患者さんとして日々頑張り我慢をしています。それは優先順位の一位です。でも受け身の立場にずっといて治療のエネルギーさえ枯渇している姿を見ます。そんな子どもたちが心のエネルギーをため、治療に向き合うために大切にしている院内学級でのかかわりについて一緒に考えていただけると嬉しいです。

昭和医科大学 保健医療学部 教授

講師 副島 賢和 先生

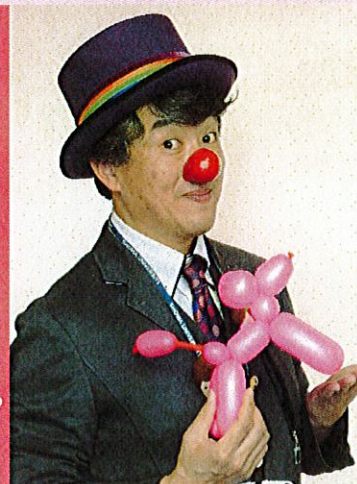
(そえじま まさかず)

昭和医科大学保健医療学部 教授

昭和医科大学病院内さいかち学級担当

大学卒業後、東京都の公立小学校教諭として勤務。2006年より品川区立清水台小学校教諭・昭和大学さいかち学級担任。2014年より昭和大学准教授。2024年東京学芸大学博士課程修了。博士（教育学）。2025年より現職。学校心理士スーパーバイザー。ホスピタルクラウン。

2009年ドラマ「赤鼻のセンセイ」（日本テレビ）のモチーフ。2011年「プロフェッショナル仕事の流儀」（NHK総合）出演。



日時：令和7年12月18日(木)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館 第1臨床講義室

参加無料／事前登録不要

司会：佐藤 薫先生（緩和ケアセンター）

◆がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ、患者様及び一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。

◆本セミナーは、『東北広域次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。

◆本セミナーは、大学院授業要項に基づく「共通必修科目（8）」に該当します。大学院生は履修票をご持参下さい。

【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL：024-547-1095 E-MAIL：ganpro@fmu.ac.jp

【次回予定】 令和8年2月24日（火）18時15分～19時15分／第2臨床講義室

（講師）福島県立医科大学 循環器内科学講座 准教授 及川雅啓先生